「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成２４年度採択）

事後評価結果（公表用）

番号	研究名	研究代表者	評価
24-3	道路の旅行時間信頼性の評価と運用に係る研究開発	東京工業大学 准教授　福田大輔	A

＜研究の概要＞　※成果報告レポートより引用

道路の旅行時間信頼性（移動の定時性）が向上したことによる経済便益の計測・評価手法を提案・検証すると共に、旅行時間の不確実性を前提とした経路誘導アルゴリズムの開発及びそのシステム構築を行った。具体的には、「旅行時間信頼性向上の経済便益の計測・評価手法の提案と検証」、「旅行時間の不確実性を考慮した経路誘導アルゴリズムの開発とシステム構築」、「そのようなインテリジェントな経路誘導システムの社会的普及がネットワーク交通流全体に及ぼす影響の分析」という、旅行時間信頼性の「評価」および「運用」という二つの観点から実施した。

＜事後評価結果＞

道路の旅行時間信頼性に関して、経済便益の計測・評価手法の提案、経路誘導アルゴリズムの開発を行った。旅行時間信頼性の経済便益評価と経路誘導システムの開発という 2 つの研究目的のいずれもが高いレベルで達成されており、十分な研究成果があったと評価する。

＜参考意見＞

1. 旅行時間信頼性が向上することの経済便益をネットワーク全体で評価・計測することは、学術的にも実務的にも重要な課題であり、今後の研究展開に期待できる。
2. 研究の精緻化とともに汎用性や実用性が失われることのないよう、留意が必要である。

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第２７回新道路技術会議において審議したものである。